

研究者が語る イルカの話



～イルカの眼から見える世界～

高度に水中生活に適応したイルカ類は水の中でもたくみに視覚を使っています。光の少ない水中で彼らはどのように視覚を使っているのでしょうか。まずは彼らの眼のつくりや働きについてみてみましょう。

また、視覚で感じたものをどのように認識しているのか、行動実験で明らかにしたイルカから見た世界をご紹介します。



講師:村山司博士

東海大学海洋学部海洋生物学科 教授

東京大学大学院修了、博士(農学)。水産庁水産工学研究所、東京大学研究員を経て現職。主に水族館でイルカなどの海獣類の感覚、行動、認知を研究。
主な著書に「イルカ・クジラ学」(東海大学出版会)、「イルカ」(中央公論新社)、「ナックの声が聞きたくて」「イルカのふしぎ」(講談社)がある。

参加
無料

入館料不要 / 対象 小学4年生以上

【申し込み方法】

①～⑤を記入のうえメールでお申し込みください。

✉ lect@marinepia.or.jp

①「イルカの話」②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号

※複数名参加の場合③・④は1名ずつ必要

QRコードから
かんたん申込み



注意事項 ※ 途中退場はできません。詳しくは当館ホームページにてご確認ください。

2020年

3月15日(日)

14:00～16:30 受付13:40

会場 新潟市水族館マリニピア日本海2階 団体休憩室

<プログラム>

14:10 - 第一部「海獣の一般的な紹介～眼や視覚についての話」

15:00 - 第二部「イルカの行動実験の話」

15:50 - 質疑応答

新潟市中央区西船見町5932-445

☎025-222-7500

<https://www.marinepia.or.jp>



新潟市水族館

マリニピア日本海

NIIGATA CITY AQUARIUM

共催:新潟市